

令和元年度 第48回緑陵祭 閉祭式 校長挨拶

こんにちは、

「緑陵祭」、本当にお疲れ様でした。

二日目は、台風接近が心配されたにも拘わらず

開催期間中の来場者は、昨年度とほぼ同数の2,600名弱を記録しました。

中でも小・中学生のみなさんが沢山来校されたことは喜ばしいことです。

皆さんの親切で丁寧な、案内や説明、熱のこもったパフォーマンスを、憧れの目で見つめていたことが印象的でした。きっと、高校生になったら、あんなお兄さん、お姉さんになりたいなと思ったことでしょう。

私自身、和太鼓部、ダンス部、軽音楽部の熱い魂と迫力に、圧倒されました。

3年8組のジェット・コースターはスクリーンの迫力と相まってスリル感満点でした。

茶道部では、別の時間が流れている、お茶室の落ち着いた演出に、心が癒やされました。

他にも、沢山の生徒の熱い思いと、工夫が溢れていました。

さて、3年生は高校生活の大きな行事がこれで終わります。完全燃焼できましたか、これからは、楽しい思い出を胸に、気持ちを切り替えて自分の進路実現に向けて全力投球してください。

2年生は、これから修学旅行を控えていますね。文化祭の事前学習のブースはこれからはじまる行事への期待感が感じられました。

そして、来年度はいよいよ最終学年です。各行事には常に「高校生活最後の…」という枕言葉がつきます。後悔のない、充実した学校生活を過ごすように引き続き頑張りましょう。

1年生は、高校生活初めての文化祭を経験して、来年度は「こんなことがしたい。」など、既にアイデアやプランが膨らんでいる生徒もいることでしょう。

是非、その気持ちを1年間持ち続けて、来年度に活かしてください。

さて、閉祭式で一つ話し忘れたことがあります。

それは「文化祭は、片付けの終了をもって完結する。」ということです。

準備は、イベントを前にワクワク・ドキドキの中、高まる高揚感で、全員が一生懸命取り組む学校が多いです。

しかし、片付けと原状復帰ともなると、「祭りの後の寂しさ。」や「モチベーションの消失。」「片付けなんてつまんない。」などから、一部の生徒だけが汗をかき、苦勞している、残念な行事の締めくくりとなることもあります。

しかし、ここで本当の人間としての誠実さ、母校愛、友達との友情が試されるのです。

本校生徒諸君は、友達と協力して、ブースの解体、リサイクル、ゴミの分別、丁寧に床のペンキを落とすなど、一生懸命に取り組んでいました。しかも、楽しいそうに…。その姿に、私は文化祭当日と同じくらい感心しました。

今回は、台風接近に伴う判断で、2日目の後夜祭と花火が中止になりました。私自身大変残念ですが、後夜祭は、縮小版で本日举行されることになりました。近隣に配慮して音量・振動等に気を付けて行うことが先生方との約束です。必ず約束を守って楽しんでください。

それでは、文化祭実行委員会をはじめ、全校生徒諸君、本当にご苦労様でした。

私からは以上です。

【「緑陵祭」 2 日目の様子】



茶道部「茶会」



和太鼓部「府 ^ふhigashi 打撃團 ^{だげきだん} 和太鼓演奏」



吹奏楽部

「令和最初の文化祭～今までにない私たちの演奏を～」